

I 病院報告の概況

1 在院患者数

平成30年の年間の在院患者延数は4,657,690人(前年4,676,909人)で、新入院患者数は113,992人(同112,992人)、退院患者数は114,293人(同112,886人)である。1日平均に換算して在院患者数を見ると12,760.8人(同12,813.4人)で、前年に比べ52.6人減少している。

一日平均在院患者数を病院の種類別にみると、一般病院では10,378.6人(総数の81.3%)で、前年の10,426.8人に比べ48.2人、精神科病院では2,382.2人(同18.7%)で前年の2,386.7人に比べ4.5人減少している。

また、これを病床の種類別にみると、一般病床では5,149.1人(総数の40.4%)で、前年の5,112.4人に比べ36.7人増加し、精神科病床では3,755.7人(同29.4%)で、前年の3,772.1人に比べ16.4人減少している。結核病床では、16.2人(同0.1%)で前年の17.4人に比べ1.2人減少している。

なお、療養病床では3,839.8人(総数の30.1%)で、前年の3,911.6人に比べ71.8人減少している。

2 外来患者数

平成30年の年間の外来患者延数は3,720,126人(前年3,795,652人)である。1日平均に換算すると患者数は10,192.1人(同10,399.0人)で、前年に比べ206.9人減少している。

一日平均外来患者数を病院の種類別にみると、一般病院では9,465.9人(総数の92.9%)で、前年の9,670.0人に比べ204.1人減少し、精神科病院では726.2人(同7.1%)で前年の729.1人に比べ2.9人減少している。

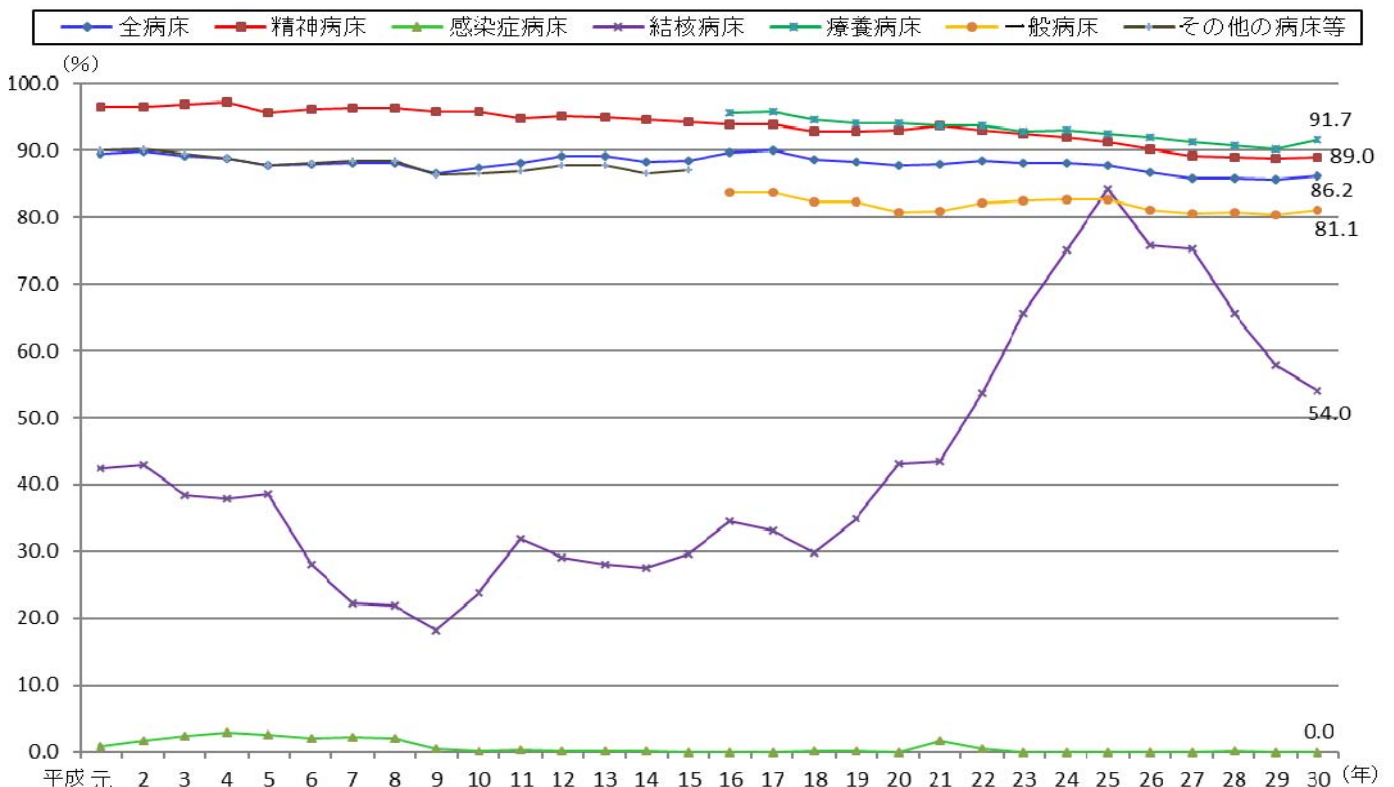
3 病床利用率

全病床における病床利用率は86.2%(前年85.6%)で、前年に比べ0.6ポイント増加している。

病床の種類別にみると、療養病床における病床利用率が91.7%(同90.3%)で最も高く、次いで精神科病床が89.0%(同89.3%)となっている。

保健所別では、鳥栖保健所が90.3%と高く、佐賀中部保健所が82.9%と低くなっている。

図1 病床利用率の年次推移(佐賀県)



(注) その他の病床等は平成16年から療養病床と一般病床に分けて表示している。